

議会基本条例推進委員会記録（要旨）

1. 期日 平成 30 年 2 月 15 日(木) 開会 10 時 40 分
閉会 12 時 00 分
2. 場所 第 1 委員会室
3. 議 題 ①次回のシェアにのみや（議会報告会・意見交換会）について
4. 出席者 露木委員長、小笠原副委員長、前田委員、桑原委員、二宮議員、野地委員
渡辺委員、柳川委員、添田議員、二見議長
傍聴議員 一石議員、善波議員
事務局 3 名（局長、庶務課長、主任主事）
傍聴者 0 名

5. 経過

議長あいさつ

次回のシェアにのみや(議会報告会・意見交換会)について

- 委員長 次回のシェアにのみやについて日程、内容について決めたい。3 月は予算議会になっており、町民には予算の報告をしなければならない。意見交換についての内容、報告の仕方も含めてご意見願う。
- 渡辺 予算を通して町政のあり方が関心事であると思う。予算報告を中心に様々な意見を受け止めるよう進めればどうか。
- 委員長 他に何かあるか。
- 二宮 ほとんどの方が広報誌や議会だよりを見ていないと思うので、何回か前にも言ったが、前にスクリーンで映すとともに議会だよりの中身を「議会だより何ページを見て下さい」というようなことをもう少し取り入れた方がよいのではないか。
- 委員長 議会だよりをもっと活用したやり方をということか。他に何かあるか。
- 野地 予算報告説明が必要であり、機会を作るのは大切だが、各常任委員会中心で行ったが、いつも時間が足りないという反省が出る。時間が足りないので中途半端になる。それも少し議論したい。例えば 3 月予算中心に報告説明会をし、2 時間であれば意見交換会に含まず、集中してみっちり予算の説明をするのもよいのではないかと思うが皆さんの意見はいかがか。

委員長

予算の時期で町民の方も改選のことも気になっているようで、予算を報告しつつ、予算のことで意見交換会をするのが良いかと思う。前回の決算の時に、今までは執行者側の予算説明をしていたが審査意見を説明するやり方をした。それが議会の意見として目に見える形だと思ったので町の予算を説明し、予算の審査意見を入れ、メインとし、報告と意見交換会も予算のことをやれたらよいかとイメージしている。以前、町民センターで子育て世代をターゲットにした時に、その時も予算だったと思うが内容を子育て寄りの興味があるやさしいやり方で作り、別の日には語弊があるかもしれないが、一般の方向け・予算を気にしている方向けに予算の説明をした。私はこのようなやり方もよいのではないかと思っている。

小笠原

渡辺議員のおっしゃるように、予算の報告説明をし、意見交換するのはとても良いと思うが、ワークショップ方式でグループ分けすると様々な意見が上がりやすいが、全体で意見を出すとなると少し偏りがちになる。20～30人の中で立ち上がって意見を言うとなると、発言する方が限られてしまうのではないかと危惧している。予算の説明をした後、それに対しての質疑というよりも、意見交換会とした方がよい。質疑あるかと尋ねると、意見を言う方が多い。最初から意見交換会という形でやる方がよい。

添田

非常に良い試みで、予算の後で意見交換会をするのは良い。しかし、どなたかも言っていたが、予算はあまりにもジャンルが広すぎる。子育て、高齢福祉、公共施設等、町の主要な課題が3つ、4つある中で、一般的な予算での意見交換会をすると、まとまりのない意見交換会になる。工夫をしながらの予算の意見交換会を行うことは可能ではないか。今後の施策に関係して、子育て層をこの予算でというように、少しまとまりがある工夫が必要であるかと思う。そのような方向性は今までにないのでよい。

委員長

例えば予算審査があるが、もっと広報して「何々課は、いつやります」ということを周知していただき、そこにも傍聴に来ていただく。シェアにのみやについても、何々課に分けて興味がある時間帯に、町民の方に来ていただくのも可能ではないか。審査の日に広報をしつつ、町民の方に傍聴に来ていただき、私たちのシェアにのみやでも担当課で時間を分け、興味のある好きな時間に来ていただくのも良いと思う。

添田

非常に理想的でそうあるべきだと思うが、意見書案という議論をするとなると、予算審査特別委員会の進め方から始めないといけない。何々部、何々課で審査するが、それぞれの質問が一定の方向性の質問ではなく、ばらばらで分からないことを質問してしまう。そうではなく、町の施策に結びつくような形であらかじめ調整があって初めてそういうことができる。そのあたり考えて

いただきたいと思う。

委員長

それについて、小笠原予算審査特別委員長はいかがか。

小笠原

今年度は村田町長も最終年度ということで、ここで成果を残さなければ何のための4年間ということがあり、3月の予算については今までとは違う動きが出てくると思われる。庁舎のあり方、東大果樹園跡地をどうするのか等いろいろある。これらが大きい課題で町民も関心があり、この部分については事前の話し合いをし、しっかり詰めて審議していく。各委員会から消化事業のように3名ずつ出しても、ほとんど1日質問しないという委員もいる。そういうことがないよう責任を持って、しっかり調査研究し、質疑できる委員を出していただくのが第一である。委員長のあり方もその関連で、そのパターンをやめようと提案したが副議長が予算決算の特別委員長をやることについてもふさわしいのかどうかもあらためてご審議いただいてもよいかと思う。どうすべきか、批判はもちろん受けるが、それに対しての代案を出していただいて、この3月議会に望めればと思う。今は、副議長で特別委員会の委員長の立場として話した。

渡辺

委員長から部署ごとの論議を深めてはという意見があったが、部署ごとに分けてしまうと範囲が広くなり、焦点が絞りにくいと思う。副委員長からひとつの例として庁舎の建て替えの件が出たが、今回町民の関心事は、議会はどのように考えているのか知りたいのだと思う。駅前会館の建て替えにしてもどのような計画か町からどういうことを引き出すのか。行政との説明を繰り返しても仕方がないので議会としてどういう論議が進んでいるのか、どのように町に迫るのか、自分の意見を言いたいという町民の気持ちだと思う。部署というよりも重要なテーマをいくつか決める。何でもよいから言いたいという方もいて、何年か前に3つほどテーマを決めて行われた。そのうち1つは、自由に意見を述べてもらうこともあったが、そのようなやり方はどうか。予算説明も全部やってから分かれて話し合うのではなく、例えば、子育てについてなら全部を大まかにやった後に、補足で説明して話を深めてもらうのもよいのかということも考えた。

委員長

今意見をいただいたが、予算についての報告をし、意見交換会も予算をメインにする。これについては、皆さん共有できているということでよろしいか。あらためて意見交換会で別のテーマを設定するのではなく、予算審査の中で重要なところをそこで議論をするのか。もしくは、ここからスタートということになる。

添田

『シェアにのみや』で考えた場合、今までどおり全ての予算として報告会をし、それで意見交換会をするのか。ジャンルを分けた意見交換会をするのか。どのように考えているのか。今までの報告

会がつまらないとされているのは、全体の予算の増減を説明して、意見書案を出して説明しても、意見書案は細かい部分であり、ギャップがあって、施策レベルで議論ができないということである。全体の子ども教育だけの予算や、高齢福祉に関係する予算や、それ以外の予算等のような形でやるのもよいと思う。総合計画から落ちてきた施策・政策からの予算の報告会をするやり方もひとつの考え方である。

委員長

1日の中にそのテーマでやるということによいか。

添田

今まで報告会を2回・3回に分けてやってきた、そのようなジャンル分けもひとつの方法ではないかと思う。

渡辺

部署で分けるよりも、自分の立場でどうなのか。一人の親として考えた時に子育て、学校教育もあれば学童もあり、部署をまたぐ。その方が報告を受けるのも、意見を言う際も自然で望ましい。

小笠原

公園は総務建設経済常任委員会だが、切実に利用したいのは子育て世代ではないかと思う。それを常任委員会の都合で分けるのはよろしくない。求めるものは世代で違う。私の耳に届くのが、子育て支援ばかり言っていかがなものかという価値観の方がいる。テーマごとで分ければある程度網羅できるのではないか。その他というテーマがあってもよい。我々も資料等しっかり準備する必要がある。

添田

小笠原議員に聞きたい。報告会は全部やり、グループワークはグループワークで分けるとなると、今までと同じになってしまう。報告自体を総合計画から落としてきた施策・戦略の分野ごとに説明した方が、議論が深まるのではないか。

小笠原

前回、皆で合意の上でこれまでのやり方は良くないということで、意見書のみ説明にしている。行政と同じことをしても意味はない。議会だよりはある程度行政と重なる部分があるので気をつけなければいけない。今日、午後から予算の概略を執行者から聞く。箇条書きのようなものではあるが、その箇条書きを見ながら、説明のあり方についても、ある程度方向性を出せるのではないかと思っている。今この場では言えないが、皆さんと相談しながら将来に向けて、ここはしっかり議論しなければならない。今までにはない形でやっていかなければならない。

委員長

内容について、何を議論するか決めるのは現時点では無理である。ただ、報告した後にジャンル別に分かれるのは今までやってきたやり方だが、良くないと思うのは、グループに分かれることで別グループで議論しているテーマについては意見交換ができない。誰もが好きな時に参加できるように、1日スケジュールを

入れる。例えば、セミナーの分科会のようなやり方がよい。どのようなイメージを持ってシェアにのみやを開催するかご意見を求める。

渡辺

ラディアンで展示を交えながら開催したが、展示の時間が短いとの反省があった。委員長のアイデアを形にするなら議会報告会ではなく議会報告 DAY のようにし、朝 10 時から夕方 6 時頃まで展示しておき、時間によって各テーマを定めるやり方はどうか。

野地

昨年の 4 月 27 日は、教育福祉常任委員会が老人クラブ室で子育て中心で、学校の校庭の使い方など、29 日は 2A クラブ室で、総務建設経済常任委員会が庁舎の耐震について開催した。それから各委員会で意見交換会を行ってきた。議会報告会は、同じような形で引き続きやってもよいのではないか。1 日をかけて興味のある方が来るというのは反対である。相談会のようになってしまうメリハリがつかない。議会報告会として集中したものになりたい。

添田

1 日でやるのは反対ではない。例えば、ラディアンの展示ギャラリーで 10 時から子育て、12 時から 14 時までは何々で、それぞれの時間で報告と議論をする。来られる方も 1 日で済むので悪くない。予算に関係した意見交換会なので工夫が必要であると思う。今のところは試行錯誤でできる工夫を試していき、良い方法を見つける段階ではないかと思う。工夫をして予算に絡め施策ごとに両委員会で議論していった方がよい。

二宮

一般の町民の方が、教育とか公園と分けて、自分の税金が使われているというところに興味があるのではなく、テーマごとでなく、トータルでどのように使われているのかという説明が必要である。今までの同じやり方でもう少し魅力的にするというのが意見である。町民の方は、駅前町民会館や庁舎のことはものすごく興味があるもので、メインテーマになると思う。

委員長

以前も二宮委員は、全体の説明が必要とおっしゃったが、例えば、子育てのことばかり言うってしまうが、前回、子育て世代に向けてやさしい言葉で興味がある分野を中心として、全体の説明はそんなにしていない。あの結果を見てどう感じているか。

二宮

子育て世代を中心に行うというインパクトのある周知の仕方が上手く功を奏した。もう少し、広範囲の年代が来るような周知の仕方を考えていく必要もあると思う。

委員長

人が集まったことに対してではなく、子育て世代を集めて、子育て世代に向けた説明をした。その後の意見交換会で、全体を説明されるよりも、理解してくれていたように感じた。ターゲット・ジャンルをもっと絞っていくという利点はあまり感じないか。

- 二宮 テーマを出されて、それによって集まってきたというのがあるので、テーマは重要ではある。
- 添田 全体の説明が魅力的でないのは、例で言うと、今の現町長は、予算の途中で情報を開示するとしているが、開示の仕方が良くない。何々費、何々費がいくらで、いくらオーバーしているから調整していますと言われても、内容も分からないのに誰が興味を持つのか。同様の議会報告会になってはならない。もう少し内容が見える形で行うべきである。
- 二宮 添田委員の言うことも分かるが、そこを分かりやすい言葉で説明するのはどうか。例えば、生活している面では、橋もほしいし、橋の修復も必要で、税金はこちらにこれだけ使ったから、こちらは削ったというトータルの予算だと思う。説明は必要ではないか。
- 添田 私が言っているのはやさしい言葉、分かりやすい言葉でも全体の説明には限界がある。内容が見えなければ、いくらやさしい言葉で説明しても見えない。内容をより見えやすくするためには、限られた時間の中でジャンル別にした方が分かりやすい。
- 委員長 町の予算を町が説明することはあるのか。町長移動室になるのか。やっていただいた後に、私たちが報告会・意見交換会をやるのはどうか。
- 庶務課長 どのように移動町長室を行うかは、町長の考えに基づき、企画政策課・地域政策課が設定していくと思う。予算全般について、説明する形式を取るのか、地域の意向を聞いて、地域に特化したテーマで行う可能性もある。今のやり方をみているとそのようなものはやらないのではないか。
- 委員長 例えば、私たちも町民であり、町民が要求すると移動町長室できるわけで、その仕組みで我々がやる前にやっていただくというのも手ではないか。
- 添田 一般的に言われていることで、そこに議員が入って議論すべきと同じ考え方である。要するに、移動町長室のように町の施策を説明した時に、議員がそこにいて町民との議論をせよと世の中では言われている。理想ではあるが難しい。議会報告会とは別の話になる。
- 前田 まずは従来通りの形でやるのか、添田委員の案のように新たな形でやるのか。話を聞いていると堂々巡りをしている。1日で行うか、従来どおり半日で行うのか。

野地

自分の発言を撤回するが、各常任委員会が別々の日に行った場合に問題が起こる。縦割り社会の中で、この課に対してこれだけというような責任しか私たちは持てなくなってしまう。執行者側に横断的にと求めるように、子育てであれば、両常任委員会で含まれる部分はある。どちらかだけ居ればよいという問題ではなくなる。やはり、両常任委員会がそこにいて、事業ではなく政策の中で意見交換会ができればよいと感じた。やり方は先ほど添田委員がおっしゃったように、10時から全体の予算の説明があって、何々のテーマで意見交換し、午後1時からまた、全体の予算の説明があり、何々について意見交換という1日の流れでも良いと思った。気になったのが2か所以上で開催するという問題があり、土曜日に1回やり、平日に1回やるのか。議員は決まったことしか発言できない中で、どのように説明するのか不安はある。新しい取り組みとして、その方向で考えてもよいのかと考えた。

委員長

現状の要綱を確認してもよいか。

庶務課長

町内の2か所以上で開催する。ただし、改選年の決算議会後の報告会は1回で良いとなっている。最低2か所、2回必要である。去年4月27日の木曜日に子育て世代対象に町民センターで行ったが、1件批判があった。つまり平日に来られる子育て世代しか対象にしていない。子育てに関心のある人ということでは、孫の面倒を見ている年代も関心はある。あのポスターを見ていると、まさしくお母さんしか見ていないように思えると。また、お母さんは若い人だけではなく、40代、50代でも今は晩婚化で五、六歳の子どもがいる。若いお母さんと言われるともう対象ではないと思ってしまう。また、お父さんも入れてほしいという批判があった。やるのであれば、同じ内容で2回、2か所の方が良いのではということ。

小笠原

人間の集中できる時間の限界はあると思うが、休憩時間を挟みながらやってみる価値はある。開催経過から見れば、平日は少なく、子育て世代に絞った時は集まったが放っておけば二、三人しか来ないことも続いていた。そこで、より多くの人に参加してもらうため、色々な工夫をした。要綱にもある2か所でやるのは町民の立場に立てば当然である。

添田

2か所が気になった。例えばラディアンでやるにしても、2回であれば平日1回土日に1回ということもできるが、他の場所でやらなければならない。

委員長

要綱の表記の仕方は考えた方が良くもしいない。1日のうちにどのように構成するかは決められないがそのような1日を取ることについてはよろしいか。

- 野地 2か所というのがクリアできていない。
- 委員長 1回は午前も午後も行うということでまず決めたい。平日と土日の各1日、計2日間で行うということについてはどうするか。1回を土日でやるのであれば、1回は平日という話も出たが、私も賛成である。では、平日の設定の仕方はどうするか。
- 前田 平日1回、土日1回で内容は同じでよい。来る方の仕事の関係もある。
- 委員長 平日の時間帯は短くする等の工夫は必要か。同じでよいか。
- 添田 前回、総務建設経済常任委員会は平日の午後にやったが、来られた方が、幼稚園に預けていると午後からしか来られないという意見もあった。土日も、平日も同じようにやった方がよい。
- 委員長 休憩して、傍聴の方の意見を聞く。
- 休憩 11時35分
再開 11時46分
- 委員長 先ほどから意見が出ているが、土日どちらかで1日を使い、1ヶ所は展示ギャラリーで朝から夕方頃までかける。内容の構成はこれから検討する。平日のもう1か所について、日にちが違うため、解釈によっては展示ギャラリーでもよいのではないか。要綱と照らし合わせ、要綱を改正するのか、解釈上可能かは検証するが平日も行うことにする。
- 本日話し合いの中で、予算審査特別委員会に関して、事前の話し合いが必要であると思った。例えば、「委員で担当課ごとに気になる項目を出し合い、徹底的に審査したり、事業効果でピックアップした事業の予算についてしっかり議論したり、予算の修正案が出せるのか。」等である。
- また、大きな施策について、議会としてというのは難しいが、ある程度まとまっているのであれば、町民の方にも話ができるのではないか。まとまっていなくとも、賛成・反対がはっきりしているのであれば、賛成者が何人、反対者が何人いるということは開示できるのではないか。やり方は色々ある。予算審査特別委員会とも連携を取り、次回の「シェアにのみや」は実りのあるものとしたい。このことについて、ご意見あるか。
- 小笠原 長時間にわたり、議会報告会・意見交換会のあり方について議論し、その前に行われる予算審査特別委員会の重要性について改めて認識できた。委員長からお話があったが、予算審査特別委員会の傍聴についての声かけは、共通認識としてお願いしたい。誰かがやるであろうではなく、予算審査特別委員でない方には特に

お願いしたい。私は長い間議員をやってきて、桜美園のことは緑が丘の方々にとって、非常に大きな課題であったので、ごみの問題の際に、傍聴者がいないということはなかった時期があった。最近、傍聴者もほとんどいない状況である。議会を理解していただくためのひとつとして、予算審査特別委員会も傍聴できるということをあらためて働きかけしていきたい。皆さんよろしく願いする。

庶務課長

場所の設定について、以前もお伝えしているが、生涯学習課より伝言がある。展示ギャラリーはあくまでも展示メインの場所であり、一般の方には話し合いの場としては提供していない。まずは、ミーティングルームが空いているか確認し、空いていない場合に展示ギャラリーという選択にさせていただきたいということである。

小笠原

展示ギャラリーは値上げしたことで利用が減っている。ラディアンを建ててから年月も経っており、町民のニーズも変わってきている部分もあると思う。議会としても、ラディアンの条例や要綱をしっかりと見て、町民のニーズに合ったものにしていかなければならない。皆さんとともに検証していきたい。

委員長

日程を決めたい。

休憩 11時52分

再開 11時58分

委員長

4月27日、28日だが、展示ギャラリーは空いておらず、ミーティングルームであれば空いていた。ミーティングルームではイメージが変わってしまうため、最終決定はしない。4月20日、21日も空いていなかった。日程の確保のみお願いしたい。5月の11日、12日あたりも予定が入っていなければ、数日の間は空けておいていただきたい。

閉会時間 12時00分